

「ももっこステーション」について

問1：「ももっこステーション」って何ですか。

お答え：乳幼児とその保護者の方が、気兼ねなく訪れてくつろいだり、相互に交流したり、子育て相談ができる身近な場所で、岡山県が認定した場所です。

■交流・遊びの場

乳幼児とその保護者がゆっくりくつろげたり、ともに交流できたり、子どもが遊べたりする一定の場所です。

■概ね1週間に1回以上

地域の親子が気軽に利用できるよう、概ね1週間に1回以上、一定の場所で開催されるものです。

■原則として入退場自由

原則として、開催時間帯であればいつ行って、いつ帰ってもよい場所です。

■開設時間帯にはスタッフを配置

スタッフが、利用者同士をつないだり、子どもの健全な遊びを促す役割を果たします。

問2：そこでは何ができるのですか。

お答え：保護者や子どもの「話し相手」「遊び相手」となるスタッフがいて、子育て相談に乗ってくれたり、自由な遊び、交流のなかで他の保護者や子どもと友だちがつかれたりします。

次のような活動やイベントを行っている場所もあります。イベントを行わず、親子の交流・居場所づくりを行っている場所もあります。

- | | |
|-------------|------------------------|
| ■子育て教室 | …お父さん向けの子育て講座など |
| ■健診・健康教室 | …ベビーマッサージの活動も |
| ■小中学生とのふれあい | …技術・家庭科の授業などで |
| ■「ママ先生」 | …英語教室やクッキングなど利用者の得意分野で |
| ■親子交流会 | …わらべうたや絵本の読み聞かせなど |
| ■屋外活動 | …土や虫、畑の収穫物との出会い |

さまざまな特色をもった場所がありますので、自分に合った場所を探してみるのもよいと思います。



問3：どこにあるのですか？

お答え：県庁子ども未来課のホームページ（「子育て親子の居場所」の項目）で一覧表を公表しています。

そのほか、「おかやま全県統合型GIS」（岡山県がインターネット上で運営する地図情報システム）にも、個別の場所を掲載しています。（右の画面のように、地図上に「ももっち」のアイコンが表示されます。縮尺は自由に変えられます。）



県が認定した「ももっこステーション」には、「ももっち」をあしらった統一シンボルマークの看板やのぼりなどを掲示していただいています。



ももっこステーション看板



のぼり

問4：利用料は？ 駐車場は？

お答え：ももっこステーションの多くの場所は無料で利用することができますが、実費程度の料金が必要な場所もあります。

無料の場所も、イベントに参加する場合は参加費が必要となる場合があります。

利用料や駐車場の有無など、個別の場所のプロフィールは、県庁子ども未来課のホームページ（「子育て親子の居場所」の項目→地区ごとの一覧のページ）でご紹介しています。

問5：どんな種類がありますか。

お答え：次のように、主な設置目的、沿革や担い手が異なる様々な活動がありますが、就学前の親子の居場所づくりを行っている次のような場所を「ももっこステーション」としています。
(要件に合致したもののみ。)

ももっこステーション

地域子育て支援拠点

乳幼児とその保護者の交流を目的に設置された場ですが、一時預かりなど他の子育て支援事業を行っている場所もあります。

保育所と同じ建物や敷地内の場所が多いですが、通園児以外にも利用できます。週に3日以上開催されています。土曜、日曜、祝日は休みの場所が多いです。

児童館

遊びを通じて子どもの健全育成に取り組んでいる施設です。

専門スタッフが、歌あそび、手あそび、運動あそび、親子ふれあひあそびなどを提供しています。

土曜、日曜、祝日も利用できる所があります。

小学生になっても利用できます。

その他

地域ごとに、ボランティアの方々などにより特色をもった子育て親子の交流事業が行われています。

「プレーパーク」のように屋外活動を主体とした場所や、母親クラブが運営している場所もあります。

開催頻度や主な開催目的には違いがありますが、乳幼児と保護者の交流の場という性格では共通しています。

問6：名称やシンボルマークの由来は。

お答え：岡山県の子どもを意味する言葉として「ももっこカード」などの施策で使用されてきた「ももっこ」を愛称に使っています。

子育て親子に岡山県マスコット「ももっち」をあしらった「ももっこステーション」のシンボルマークは次のとおりです。



問7：「ももっこステーション」によってサービスが違うようなのですが。

お答え：「ももっこステーション」では、地域ごとに特色のある親子の交流の場所づくりが行われています。運営の方針や実施されている行事も、場所ごとにそれぞれ違いがあります。

また、多くの「ももっこステーション」では、利用者を温かく受け入れつつ、利用者の自発性も活かしながら、みんなの居心地がよい場所をともに作り上げていきたいと考えています。こんなことをやってみたい！という提案があれば、スタッフや周りの利用者の方と話し合ってみてはいかがでしょうか。